



「ますだ食と農プロジェクト」 益田翔陽高校の取組を紹介します



益田市では「ますだ食と農の基本計画」に基づいて、市民の皆さんが農に興味を持ち、市全体で益田の農を支えてもらえるよう、幅広い世代に向けて食と農への理解を深め、農業の楽しさに触れてもらう取組を行なっています。

令和3年度は益田翔陽高校と協働して、高校生による「農の魅力発信」や「農のミライのひとづくり」に取組み、農林水産課のフェイスブックや「ますだのひと」のホームページでの情報発信のほか、広報ますだやひとまるビジョンでも取組の様子を紹介しました。

ここでは、益田翔陽高校の生徒による「ミライを担う子ども世代（小・中学生）」に向けた、食と農への理解を深めるための活動を紹介します。

「安心安全なお米」と「給食関係者が協力して作付けしたじゃがいも」を学校給食に提供！ 「ますだ食と農プロジェクト」 益田翔陽高校の取組

益田翔陽高校では「安心安全な食」を目指し、農薬や化学肥料を使用しない「合鴨農法^{あいがち}」による米の栽培に取組んでおり、鳥島県の定める生産工程管理基準の上位認証「美味しまね認証ゴールド」を取得しています。また、今回のプロジェクトでは、生徒をはじめ、学校給食に携わる栄養教諭や給食調理員、山本市長らが参加し、全員が協力して高校の農場でじゃがいもの作付けを行いました。



「美味しまね認証ゴールド」取得のお米



益田翔陽高校「合鴨研究班」の皆さん



農場でのじゃがいもの作付け



給食だより
「見て感じて食べてみよう!!」

提供に際して、高校生たちは小学校に出向き、自分たちの取組や安心安全な食の重要性、さまざまな人が給食に関わっていることなどを児童に伝えました。訪問できなかった小・中学校へは、高津学校給食センターが作成したメッセージDVDや「給食だより」で取組を紹介しました。

児童達は、給食を食べて、自分が口にしている作物を作った高校生と対話することで、安心安全な食の重要性や農業を学べる学校が身近にあることを知り、さらに、高校生が意欲的に農に関わっている姿を見ることで、農に対する意識が深まったようでした。また、高校生にとっては、学校での学びを自分の言葉で小・中学生に伝えることで、自らの学びも深まり、成長につながる取組となりました。



高津小学校（11月18日）



吉田小学校（11月19日）



戸田小学校（11月19日）

益田市では、高校生の活躍による「益田の農を支えるミライのひとづくり」について、今後も引き続き益田翔陽高校をはじめ、小・中学校や農業者等と連携し、取組を広げていきます。

【問い合わせ先】市農林水産課 ☎ 31-0311